第3回TMUがん薬物療法看護セミナー

がん治療中の親をもつ子どもへのケアを考えるコロナ禍のがん薬物療法看護への影響を振返る

日時: 2021年12月19日(日) 13:30~17:00

会場:Web開催(Zoom)【先着250名】

対象:認定看護師・専門看護師,がん看護に携わる看護職・看護学生、他

参加費:1,000円 (参加締切12月15日締切)

参加申込:以下URLまたはQRコードにリンクされた申込フォームおよび参加費を納入下さい https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfWPCWcRfCV3YGH5m_0mbz2aw5TBc9ZxKa5PcOHOVxKy5RFWA/viewform

13:30-13:35 開会挨拶 福井里美(東京都立大学)



13:35-14:35 学校でのがん教育の現状と今後の展望

植田誠治 (聖心女子大学現代教養学部教育学科教授副学長)

14:40-15:25 **がん治療を受ける親をもつ子どもたちへのケア** 小林真理子 (放送大学大学院 臨床心理学プログラム 教授)

シンポジウム1 座長 福井里美 (東京都立大学健康福祉学部看護学科 准教授) 15:30-16:00 親ががん治療を受けている子どもたちへのかかわり

学校保健室、担任の立場からの生徒への支援の実際 安永晴香(養護教諭) がん治療中の患者と子どもへの看護の研究動向 榮 裕海(東京都立大学博士前期課程) がん化学療法中の母と高校生の娘への看護経験 小山清美(京都山城総合医療センター)

シンポジウム2 座長 三浦里織 (東京都立大学健康福祉学部看護学科 准教授) 16:05-1<mark>6:55 コロナ禍のがん薬物療法看護への影響を振返る</mark>

> がん薬物療法看護へのコロナ禍の影響-中間報告 勝連 勝(小張総合病院) CSTD導入によるコロナ禍で感じたメリット 町田宏美 (川口市立医療センター) コロナ禍におけるアピアランスケアの見直し 瀬沼亮子(順天堂大学医学部附属順天堂医院) 病棟内チーム編成変更に伴うカンファレンスの活用 吉田久美子(大和市民病院)

16:55-17:00 閉会

* 研修会の最後に受講証を発行します

主催:東京都立大学 がん薬物療法看護研究会 共催:埼玉がん薬物療法看護セミナーSCCNS

お問い合わせ:事務局 東京都立大学健康福祉学看護学科福井研究室

福井里美 <u>satomif@tmu.ac.jp</u> 三浦里織 saririn@tmu.ac.jp

東京都荒川区東尾久7-2-10 03-3819-1211 (代)

